

SPARC-GIFU地域連携プラットフォームを結成

【概要】

岐阜大学は、令和4年度に採択された大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の一環として、「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の確立～」(SPARC-GIFU)の活動を開始しています。このプログラムでは、産業界、行政、高等教育機関、金融機関等の協力により地域連携プラットフォームを結成し、地域社会が求める人材の明確化やそれに即した教育を促すことで、地域社会のニーズに即した人材育成に取り組むこととしています。

11月20日(月)に、「SPARC-GIFU地域連携プラットフォーム」を結成し、第1回運営協議会を開催しました。その後、構成団体が出席した記者会見を実施しました。「SPARC-GIFU地域連携プラットフォーム」は、地域社会が求める人材像を明確に定義し各大学等に示すとともに、それに即した事業に取り組んでいるか評価を実施することで、SPARC-GIFU事業の駆動部として機能する役割を果たしていきます。

記者会見では、SPARC-GIFU事業責任者である岐阜大学杉山副学長からSPARC-GIFU地域連携プラットフォームの概要を説明し、代表に選出された長良川温泉女将伊藤会長から「地域社会が真に必要とする人材育成を実現し、地域社会の発展と課題解決に寄与する生きたプラットフォームをつくっていききたい」と結成に係る挨拶を行いました。次に、構成団体を代表して岐阜県及び株式会社十六銀行から抱負と期待が述べられました。最後には、SPARC-GIFU事業関係大学として岐阜大学吉田学長、中部学院大学江馬学長及び岐阜市立女子短期大学畑中学長から連携教育に関する展望が述べられました。

今後は、SPARC-GIFU地域連携プラットフォームが地域社会との連携を強化し、必要な人材を育成するためのプログラムを継続的に展開していきます。また、さまざまな機関や企業と協力しながら、地域の発展に向けた取り組みをさらに加速させ、地域社会のニーズに応えるための活動を積極的に推進していきます。



挨拶をする伊藤代表



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/11/25	日本経済	地域活性化へ 人材育成組織 岐阜大など14社・団体～「SPARC-GIFU市域連携プラットフォーム」～